



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 139 号 ■

第32回株式会社ファルマ 通常株主総会

代表取締役 石川 隆之

5月23日(木)午後3時より第32回通常株主総会を本社会議室にて開催しました。冒頭の挨拶の中で安倍首相が自らの任期を延長してまで憲法改正に執念を燃やしていることや国会召集の度に不祥事・疑惑・閣僚の問題発言が後を絶たない等、政権の腐敗は明らかであり、このような政権が目論む憲法改正を認める訳にはいかないことを訴えました。また、度重なる診療報酬

の改悪や薬価引き下げにより経営は厳しさを増してきていることや当社に於いては対応する医科法人の奮闘により全国的に稀有な例として処方箋枚数が対前年比で増となったこと等を報告しました。次に用意された第1号議案から第7号議案までを監査報告を挟んで提案しました。

2018年度の事業活動の特徴点としては、各薬局とも引き続き「患者のための薬局ビジョン」の考え方を民医連の持つ優位性を発揮しつつ、真正面から受け止め「かかりつけ薬剤師業務」などの「対人業務」を推進してきたこと、「健康サポート薬局」に関して

しては合計4店舗に躍進したこと、さらには対応する医療機関と共通の課題である在宅・居宅事業を伸ばしていくために地域の医療機関や介護施設と更に連携を深めたことや、地域の要望に答えて在宅やお薬に関する出前講座を数多く開催したことを報告しました。

一方2018年度決算では、当初はある程度の処方箋減を見込んだ形での予算でしたが、大幅な処方箋枚数増で推移したため、薬価改定などの影響により昨年度実績は大幅に上回る利益を獲得出来たことを報告しました。

2019年度の活動計画に関しては、一つ目として、昨年度の診療報酬改定を受け「かかりつけ薬剤師・薬剤師」として「健康サポート薬局」機能と連動させつつ、真に患者様に寄り添った「かかりつけ薬局」をさらに推進していくことを提起しました。



株主総会の様子

「健康サポート薬局」に関する

転の決意で頑張りぬくこととです。三つ目としては民医連が提唱している「医療・介護の2つの柱」やSDHの視点を取り入れた形での中長期計画をPDCAサイクルを活用し、今年度は各職場での討議を重視し、それを全職員で共有・実践していくことと選ばれる薬局を指すこと、四つ目は以上の目標を達成する観点から人材の確保と育成は引き続き重要な課題として位置付け、とりわけ経営幹部等の育成を強化していくことを提起しました。

また2019年度予算案では調剤基本料や地域支援体制加算の減算や人件費の増などにより昨年度を大幅に下回る予算となること、またその対応策として在宅の拡大、かかりつけ機能の強化や処方箋枚数を増やす工夫をすること、早期に地域支援体制加算の回復を図ることや中長期計画を早期に完成させ、それを確実にやりきること等を提案しました。

併せて、今年度も県連・全日本に結集し、民医連綱領を実現していく立場で役員一丸となって活動し

ていくことを確認し、最後に全議案とも満場一致で採択され、滞りなく株式会社ファルマの第32回通常株主総会は閉会しました。

日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

取締役薬剤部長・ファルマ弘前薬局 薬局長 相馬 渉

5月17日(金)〜19日(日)に京都の国立京都国際会館で第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会があり、参加しました。今回は、WONCA Asia Pacific Regional Conference2019と同時開催で、世界46か国1500名に日本人6000名と多くの参加者がいました。

そこで、昨年実施したファルマ利用者委員会の患者様アンケート報告をポスター発表しました。多くの学びの中で印象に残ったのは、考え・感情・事実を聞き分ける「事実質問」の手引きというワー

クシヨップ(WS)です。質問には「考え」「感情」「事実」を聞く三種類の質問があります。治療結果に反映させるために、患者様から「事実」を意識的に聴取することが重要です。その具体的な方法が、「なぜ」「どうして」を使用せず、「いつ」「だれ」「なに」「どこ」という「事実」の回答を引き出す質問を意識的に使用する「事実質問」で



ポスター発表をしました

健康サポート 薬局認定!!

4月25日(木) 藤代薬局が健康サポート薬局に認定されました。これでファルマでは、4店舗目の健康サポート薬局となりました。

チャレンジセミナー



ファルマ弘前薬局 立崎天之介

5月15日(水)に弘前文化センターで行われた日本電信電話ユーザ協会青森支部主催のチャレンジセミナーに参加しました。セミナーは主に、社会人としてのマナーとルール、コミュニケーションの高め方、電話対応の実技の三部構成でした。私自身とても大切だなと感じた内容は、電話の際の「声の表情」を豊かにするこ

とです。お互いの顔、草を見ずに声のみでやり取りをしなければならぬ電話では、声のトーンや話し方で大きく相手に影響を与えてしまうため、声で笑顔を表現し伝える必要があると講師の方がおっしゃっていました。今回のセミナーは、基礎のみという印象でした。それはどの分野においても必要であり、人間の土台になっていく部分であるので、日々の業務だけでなく、私生活にも生かしていきたいと思いました。

映画「コスタリカの奇跡」の上映と講演

本部 阿部 由希子

5月19日(日)弘前文化センターで津軽宗教者9条の会主催の映画「コスタリカの奇跡」の上映がありました。上映後は元立教大学大学院特任教授の池住義憲氏による映画の解説とコスタリカについての講演がありました。コスタリカは1948年に憲法で常備軍を廃止し、「兵士の数だけ教師を!」「トラクターは戦車より役に立つ」などをスローガンにして平和を創ってきた国です。軍事予算をゼロにしたことで、

無料の教育、無料の医療を実現し、環境のために国家予算を振り分けてきました。元大統領のオスカル・アリアスさんの「無防備こそ、最大の防備です。軍をもたないことで、弱くではなく、強くなったのです(デیفュンスレス)」という言葉が、とても強く深いものだと感じました。日本は安倍政権のもとで、憲法9条改憲の動きが加速しつつあります。コスタ



講師の池住義憲氏

リカの歴史経緯と現状を多くの人が知ること、今後の生き方、平和づくりの取り組み方が変わってくるのではないのでしょうか。「平和」について改めて深く考えさせられた時間でした。

わたしのお気に入り

ファルマ弘前薬局 薬剤師 村上 昌

皆さんこんにちは。あまり人に紹介できるものがない村上です。そんな自分が紹介できる数少ないお気に入り、たこ焼きです! たこ焼きといえば大阪などの関西がメインで、東北地方はあまりたこ焼きを食べる機会はないのかな?と感じます。

皆さんが「たこ焼きといえば?」と訊かれて浮かぶたこ焼き屋さんといえば、銀だこでしょうか。銀だこは揚げ焼きのような製法で外はカリッ!中はトロッ!の絶妙な食感になってとても美味しいです。が、今回紹介したいのは銀だこではありません。

今回紹介したいのは、弘前城東にあるBALの前にワゴン車で移動販売しているたこ焼き屋さんです!こちらのたこ焼きは銀だことは違い、中がトロトロであるのに対し外もふんわり柔らかめに仕上がっています。柔らかかな舌触りにタコのコリコリした歯ごたえがとても楽しい一品です!さらにこちらのたこ焼きの最大の特徴として、付け合わせがお寿司屋さんでよく見られるガリがトッピングされています。これがまた予想外に合う!ガリの甘さと酸味がたこ焼きの出汁とソースと相まって味を引き締めてくれます。

場所は特定のお店というわけではない上に、土日はいないことも多く基本的に平日の営業なので、興味がある方は平日にBALの前に行ってみてください!土日はどこにいるかわかりません!



中はトロトロ、ガリと一緒に食べるとさらにおいしいたこ焼き

写真紹介 5・3市民集会

5月3日(金)弘前文化センターで5・3市民集会が行われました。講師は東奥日報社編集局の斉藤光政氏で「あなたの知らないアオモリ基地最前線」をテーマに話しました。多くの方が参加し、関心の高さがうかがえました。



講師の斉藤光政氏

5・3憲法記念日 青森市民集会

5月3日(金)青森駅前公園で5・3憲法記念日青森市民集会が開催され、200名の参加者がありました。ファルマからは3名が参加し、9条改憲を阻止しようとアピールしました。



大川薬局長も参加しました

ファルマ弘前薬局 健康教室

5月27日(月)ファルマ弘前薬局待合室で健康教室を開催しました。講師の神薬剤師は「快適なお通じを目指して」をテーマに話しました。参加者は19名で、OTC商品の紹介も交えながら楽しく講義を行いました。



楽しい雰囲気の中講座をしました

津軽保健生協鶴田支部へ出張出前講座

5月9日(木)花咲温泉で津軽保健生協鶴田支部主催の出張出前講座が開催されました。講師はファルマ弘前薬局の高橋薬剤師で「薬の飲み方、サプリメントの有効性」について話しました。12名すべての参加者から「役に立った」と好評でした。



笑顔で講義をする高橋薬剤師

津軽保健生協深浦岩崎支部へ出張出前講座

5月19日(日)深浦観光ホテルで津軽保健生協深浦岩崎支部主催の出張出前講座が開催されました。講師はファルマ一ツ谷薬局の安田薬剤師で、「薬の飲み方」をテーマに話しました。参加者は18名で「説明が手に取るようにわかった」とうれしい感想がありました。



非常に分かりやすかったと好評でした

藤代健生病院へ 接遇講師

5月16日(木)本部の阿部課長補佐が藤代健生病院で、新入職員へ向けてビジネスマナー・電話応対の講義を行いました。参加者は日常業務に活かそうと熱心に講義を聴いていました。



真剣な表情でセミナーを受講していました